

麻しん(はしか)とは

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる感染症です。麻しんウイルスの感染経路は、空気感染・飛沫感染・接触感染で、その感染力は非常に強いと言われています。

免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

今回の情報広場では麻しんについて詳しくお話します。



症状	<ul style="list-style-type: none">・初期症状として、発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。・2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が現れます。・合併症として肺炎や中耳炎を発症しやすく、また、患者1,000人に1人の割合で脳炎を発症すると言われています。・その他の合併症として、10万人に1人程度と頻度は高くないものの、麻しんウイルスに感染して数年から十数年後に、亜急性硬化性全脳炎(SSPE)と呼ばれる中枢神経疾患を発症することもあります。
潜伏期間	<ul style="list-style-type: none">・潜伏期間は約10日です。
予防方法	<ul style="list-style-type: none">・麻しんは感染力が強く、空気感染もするので、手洗いやマスクのみでは予防できません。・予防接種が最も有効な予防法です。麻しん含有ワクチン(主に接種されているのは、麻しん風しん混合ワクチン)を接種することによって、95%程度の人が麻しんウイルスに対する免疫を獲得できると言われています。・定期接種の対象者だけではなく、医療・教育関係者や海外渡航を計画している成人も、麻しんの罹患歴がなく、2回の予防接種歴が明らかでない場合は予防接種を検討してください。



麻しんかも?と思ったら

・発疹や発熱などの麻しんのような症状がある場合は、あらかじめ麻しんの疑いがあることを医療機関に電話等で伝え、受診の要否や注意点を確認してから、指示に従ってください。

・医療機関へ移動する際は、周囲の方への感染を防ぐためにもマスクを着用し、公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

検査について

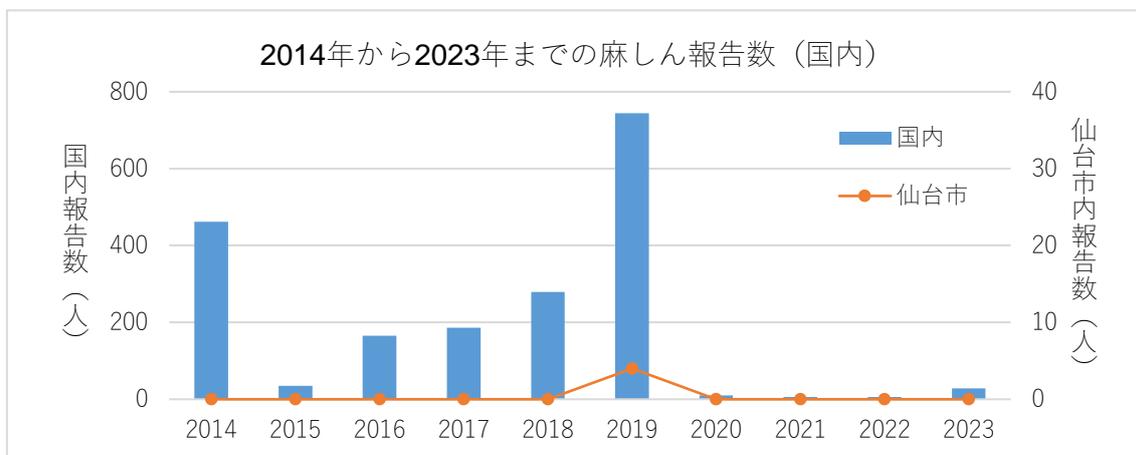
・衛生研究所では、市内医療機関より保健所に届出のあった、麻しんが疑われる方の検体について、麻しんウイルスの検査を行っています。

採取した検体(血液、尿、咽頭拭い液)に麻しんウイルスが含まれているか、リアルタイムPCR法で検査します。

近年の発生状況

・麻しんの国内報告数は 2015 年から 2019 年まで増加傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症が流行した 2020 年以降、大きく減少しました。

・仙台市では 2019 年に 4 件の報告がありました。



※国内の 2023 年報告数は、年報が未確定のため、2023 年第 1 週～第 52 週の暫定報告値を用いています

・WHO が発表している麻しんの報告数も、国内同様に 2020 年に大きく減少しましたが、2021 年以降は増加傾向にあります。



※2023 年の報告数は、2024 年 4 月現在の暫定報告値を用いています

最後に

麻しん(はしか)は命に関わることもある重篤な感染症です。感染拡大を防止するためには、多くの方が免疫を獲得した状態を維持することが重要です。そのためには 2 回の定期接種の徹底に加えて、感染者の早期探知と迅速な対応が欠かせません。自分を守るためだけでなく、「自分の周りの人」や「社会を守る」ためにも、麻しんにかかったことがなく、接種歴が無い、または不明な方はワクチン接種について医療機関に相談しましょう！



参考

厚生労働省 HP(感染症法に基づく医師及び獣医師の届出について-麻疹)

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-14-03.html>

厚生労働省 HP(感染症情報-麻疹について)

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html

国立感染症研究所 HP(感染症発生動向調査-週報(IDWR))

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

国立感染症研究所 HP(麻疹の発生に関するリスクアセスメント(2024 年第一版)(2024 年 2 月 14 日時点))

https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/measles/ra/measles_ra_2024_1.pdf

WHO HP(provisional-monthly-measles-and-rubella-data)

<https://www.who.int/teams/immunization-vaccines-and-biologicals/immunization-analysis-and-insights/surveillance/monitoring/provisional-monthly-measles-and-rubella-data>